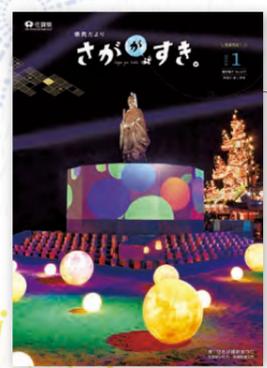




# 特集 県民だより500号

## さがき **もっと** すきに なってもらえるように!

県民だよりは皆さんに支えられ、  
今月で全戸配布を始めて500号を迎えました。  
今回は、100号・200号など、区切りの号に関わっていた県職員が集まって  
当時の出来事や、制作の裏側について語り合いました。



鳥栖のJ1  
昇格を特集  
したときは反  
響がすごかつ  
たです!

**杉町** 現在、県民だよりを担当している杉町です。今日はよろしくお願ひします。まずは、皆さんが広報に携わられた当時の印象的な出来事があれば教えてください。

**川平** 吉野ケ里遺跡が発掘されたことですね。ヘリに乗って、上空からたくさんの方の来訪者の様子を写真撮影したことは思い出深いです。  
**大橋** 当時はフィルムカメラなので、現像するまでどんな写真になっているかわからず、ドキドキでしたよね。私は「世界・森の博覧会」取材したことが印象的です。  
**太田** 私はさが維新まつりの初開催が思い出深いですね。フィナーレの感動を伝えるため、表紙写真は特にこだわって、カメラマンと撮影場所の下見を重ね、さまざまな角度から何枚も撮影しました。それからサガン



**杉町** スポーツというと、今もSAGA 2024国スポ・全障スポに向けて盛り上がりがありますよね。  
では次に、心がけていたことはありますか？

**大串** やわらかい文章を書くことです。県政を伝えるときは難しい言葉になりがちですが、「伝えること」がいちばん大事だと思うので、分かりやすい言葉で書くことを意識していました。  
**太田** 私は皆さんからいただいた感想を、新しいコーナーの参考にした  
**川平** 人の名前や固有名称、電話番号などを間違いないよう確認することかな。ベシツクな情報ほど大切だと思います。杉町さんが心がけていることは？



**杉町** 私は写真とタイトルを大事にしています。表情がよい写真を

選んだり、皆さんに興味をもってもらえるようなタイトルを考えたり。やっぱり多くの人に読んでいただきたいので。  
**大串** 「どうすれば手にとってもらえるのだろうか?」と考えながらつくるころは、ずっと変わらないですね。  
**大橋** いろいろ考えて制作するからこそ、お便りが届くと本当にうれしいですよ。

皆さんからのお便りは宝物!  
**大串** 分かります! 県民の皆さんの声



300号(平成17年12月号)  
おおくしみか  
**大串 美佳**  
(現:広報広聴課  
広報担当係長)

想いの詰まった  
「世界・森の博覧会」



200号(平成9年8月号)  
おおはしこうたろう  
**大橋 孝太郎**  
(現:教育庁危機管理  
・広報総括監)

### 県民だより さがき

はもちろん、県民に  
焦点が当たっていて、  
より親しみやすいで  
すね。  
**太田** 「さががすき。」  
というタイトルのと  
おり、県民だよりは  
「佐賀県の魅力」を発

で気づくこともありますし。  
**川平** 今の県民だよりはスマホで読み取ってもらってサイトへ誘導したり、紙面だけにとどまらない情報発信を意識していますよね。  
**大橋** それに以前に比べると紙面全体がポップになっていると感じます。県の取り組み



信していく場。紙面を通して皆さんに「さががすき!」になってほしいです。  
**大串** これからも県が伝えたいことを分かりやすく、県民の皆さんが知りたいことを詳しくお知らせしていきたいですね。

### 皆さんと県との架け橋に

やまぐち よしのり  
佐賀県知事 **山口 祥義**

県民の皆さんに佐賀の本質的な素晴らしさを伝えたい。  
さらに、誇りに思っていたきたい。  
「さががすき。」は、そんな想いで名づけました。佐賀の持っている唯一無二な価値を、旬なネタを、いかにみずみずしくお伝えするか。手に取る方々の笑顔を思い浮かべながら、私自身、編集長になった気持ちで一緒になって組み立っています。  
「佐賀暮らしはさいこう!」そんな想いを皆さんと分かち合えるよう、気持ちの込められた県民だよりを通して、これからも佐賀を盛り上げていきます。



400号(平成26年4月号)  
おおたはつみ  
**太田 初美**  
(現:広報広聴課企画担当係長)



100号(平成元年4月号)  
かわひらかつみ  
**川平 勝己**  
(現:地域交流部副部長)



500号(本号)  
すぎまちみさき  
**杉町 美咲**  
(広報広聴課主事)

